最近、土に触れていますか?

若者農村移住チャレンジ応援<mark>事業</mark>

主催 三重県

三重県発!若手農家直伝

耕す暮らしセミナー ● 農家おやつ付

都会から三重県に家族で移住して、土を耕す暮らしを実践されている3人のゲストをお迎え し、農村暮らしの魅力をお伝えするセミナーを開催します。

ゲストのみなさんはいずれも子育て世代!自然豊かな環境の中で、土に触れながら子育てを したいとお考えの方には、先輩の声を聞く絶好の機会です。大地の恵みがたっぷり入った手 づくりおやつもご用意していますので、ぜひご家族そろってお気軽にお越しください。

先着 40 ء

2017年

2/25 ⊕ 14 時 — 16 時

(受付 13 時半~) 東京交通会館ビル 6F LEAGUE 有楽町

空席があれば当日でも で参加いただけますが、 事前申し込みをおすす めします。

みかん

≪PROGLAM>

- **①ウェルカムドリンク**(完熟みかんの生絞りジュースづくり体験)
- ②三重県での耕す暮らし実践事例ご紹介 (農村暮らしガイドブックプレゼント)

③三重ゲストの『耕す暮らし』おしゃべり会&手づくりおやつ会(農作物を使ったお菓子やパンが登場。お楽しみに!) 土の匂いが懐かしくなったら、 海・山・川の大自然に囲まれた 三重県の農村で、「耕す暮らし」 を実践してみませんか? 自慢の野菜を持って いきます! プレゼントも 予定しているので お楽しみに! 寺園風さん(いなべ市) 横田正和さん、未佑さん(伊賀市)

<お問い合わせ・お申し込み先>三重県農林水産部 担い手支援課農業活性化推進班

TEL: **059-224-2016**(受付時間 8:30 — 17:15(平日)) FAX: **059-223-1120** E-mail: ninaite@pref.mie.jp

≪GUEST>



横田正和さん、未佑さん(伊賀市)

横浜市から移住した横田さん一家。正和さんは新規就農者として 2016 年から農家として独立を果たし、コメを含めて 2 3 品種もの作物を栽培している。未佑さんは製菓の専門学校を卒業したこともあり、我が子のおやつはお手製だ。将来、伊賀米の米粉を使った洋菓子を提供できたらと試行錯誤を繰り返している。

寺園風さん(いなべ市)

三重県最北部に位置し、西は滋賀県、北は岐阜県に隣接する三重県いなべ市。肥沃な土壌が広がっていることから、県内でも有数の穀倉地帯として知られているこの地に名古屋から専業農家を目指して移住した。彼が有機で栽培する小麦やライ麦は奥さんが営むパン屋で使用されている。昨年、解体寸前だった旅館を友人とともに食堂に再生し、まちに活気を生み出している。

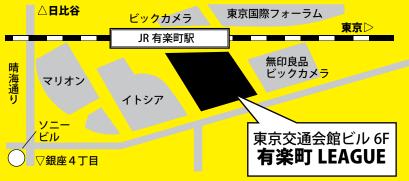


コーディネーター

志村和浩さん(合同会社ピリリ代表 / 多気町)

三重県での仕事を契機に東京から三重県多気町に家族で移住。DIYで住まいの一部を少女まんが館&カフェに改装したほか、みかん畑の保全活動や農村散策型ハロウィンイベントの企画・運営など多方面に活躍中。

ACCESS>

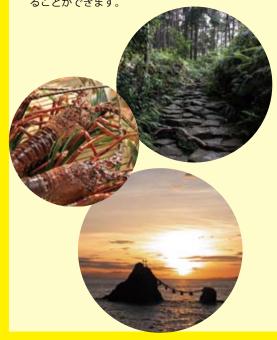


東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館ビル 6 階 TEL 03-5224-5505

三重県のご紹介

日本のほぼ中央の太平洋側に位置する三重県は、紀伊半島東部に沿って南北約170km、東西約80kmと南北に細長い県です。県土のほぼ中央を流れる櫛田川に沿った中央構造線を境に、自然環境も北部と南部で異なります。北部では東に内湾の伊勢湾が広がり、北西には養老、鈴鹿、布引などの山脈・山地が連なっています。一方、南部の東は志摩半島から熊野灘に至るリアス式海岸が続き、西には県内最高峰1,695mの日出ヶ岳(大台ヶ原山)を中心に「近畿の屋根」と称される紀伊山地が連なるなど、多彩な風土のもと、美しく豊かな海、山、川の自然に彩られています。

その一方で、名古屋・大阪ともほど近く、人口 10万人を超える都市機能を備えた市も多く、市街地と郊外の自然をほどよく併せ持つなど、ライフスタイルに応じて多様な暮らしを実現することができます。



<参加申込方法> ★定員に達した場合は、その時点で受付を終了いたします。

TEL: 059-224-2016(受付時間 8:30 - 17:15(平日)) FAX: 059-223-1120 E-mail: ninaite@pref.mie.jp

FAX 059-223-1120

「耕す暮らしセミナー」参加申込書

締切 2/24⊖ 15時

氏名		参加人数	Α
連絡先	TEL	FAX	
	E-mail		